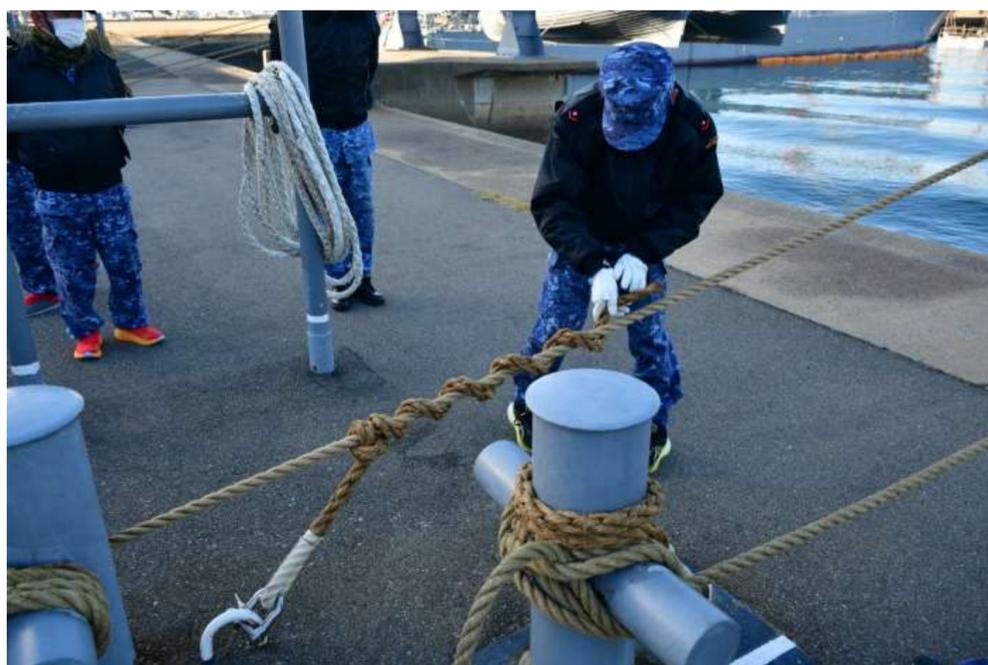


短艇

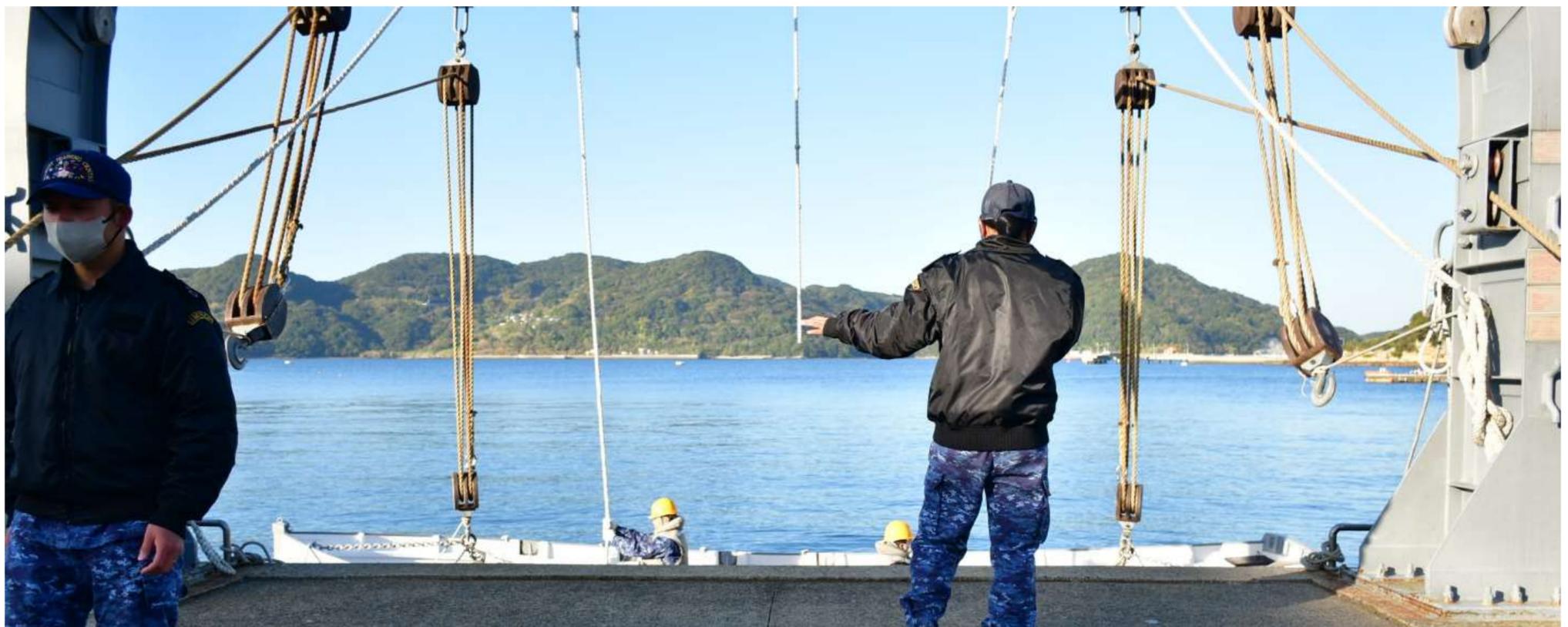


短艇とはカッターとも呼ばれ、かつては艦艇が岸壁に付けられない場合の人や物資の運搬、遭難者の救助や緊急時の救命艇として使われていました。近年では短艇からエンジンのついた機動艇に変わりましたが、基本において変わるところはなく、短艇は人力と自然を利用する以外、頼るべきものがないだけに、経験と基礎知識が必要です。

短艇教務を通じ、船乗りとしての基礎知識を身につけると共に、揚げ降ろし、艇を漕ぐ際は力を合わせてやらなければいけないため団結力も強化することができます。



揚げ降ろしの際はストッパーという道具を使って艇が落ちるのを防ぎます。初めて見た時は、「こんなのでちゃんと止まるの？」と思いましたが、正しくかければちゃんと機能します。この状態で索（ロープ）を解き（揚げ収の際は巻く）ます。



艇内作業員は命綱をしっかりと掴んで、万が一の場合に備えます。

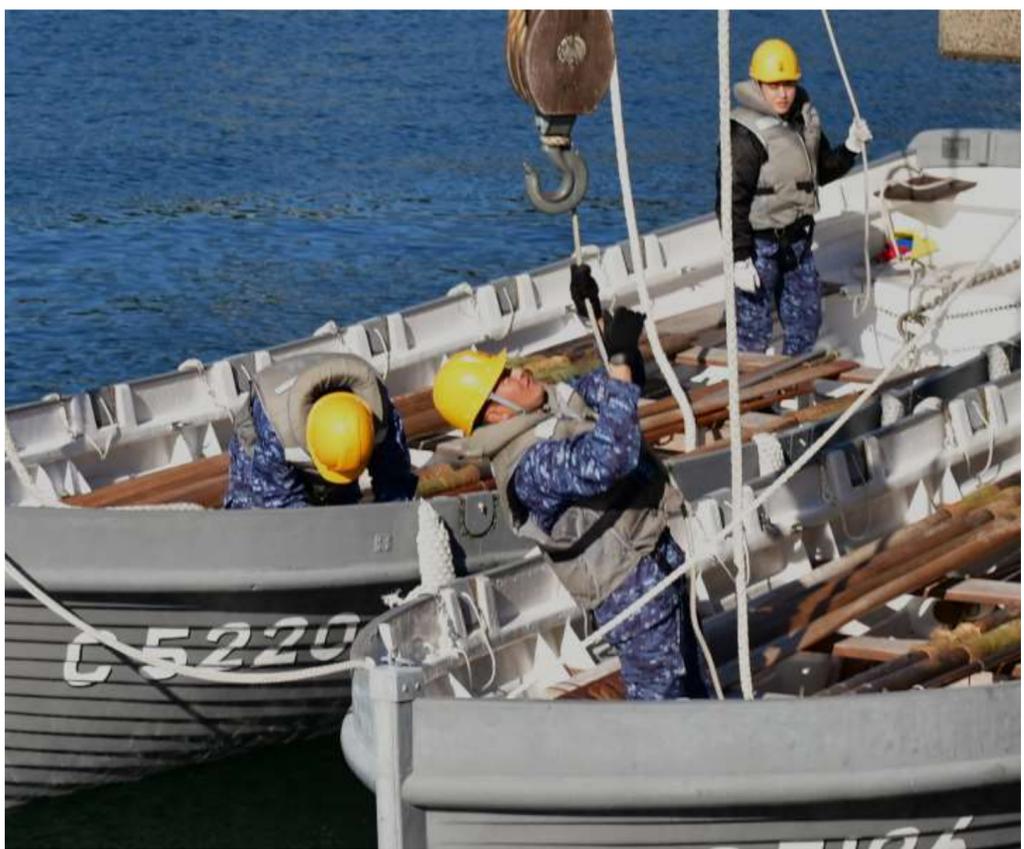




この日は短艇競技に近いということもあり、レース形式で訓練を実施しました。風も波もなく正に短艇日和という天気でした。



全力で漕いで疲れていると思いますが、艇の揚収作業が終わるまであとひと踏ん張りです。





右上の写真がストッパーだけで短艇を支えている状態です。この状態から索を巻き止めます。





ヒッチをかけた箇所は緩みを防ぐため、このように勢いをつけて引っ張りしっかりと締め込みます。

巻き止めたらストッパーを解きますが、張力が掛かった状態なので跳ね上がり注意しながら慎重に解く必要があります。



今日の訓練で、レースの感覚をつかめたと思います。本番では全力を尽くして頑張ってもらいたいです。